

関東中学校バスケットボール大会派遣審判報告

1. 報告者: 成田 幸子 (横浜)
2. 大会名: 平成30年度 第48回関東中学校バスケットボール大会
3. 大会期間: 平成30年8月7日(火)～9日(木)
4. 会場: 群馬県 ALSOK ぐんまアリーナ
5. 大会レベル: 各都県上位2チーム(東京都・開催県は上位4チーム) 男女各20チーム
6. 審判動向: 8月7日(火): 審判会議・大会1日目(1回戦)
8月8日(水): 大会2日目(2・3回戦)
8月9日(木): 大会3日目(準決勝・決勝)

7. 報告:

審判会議

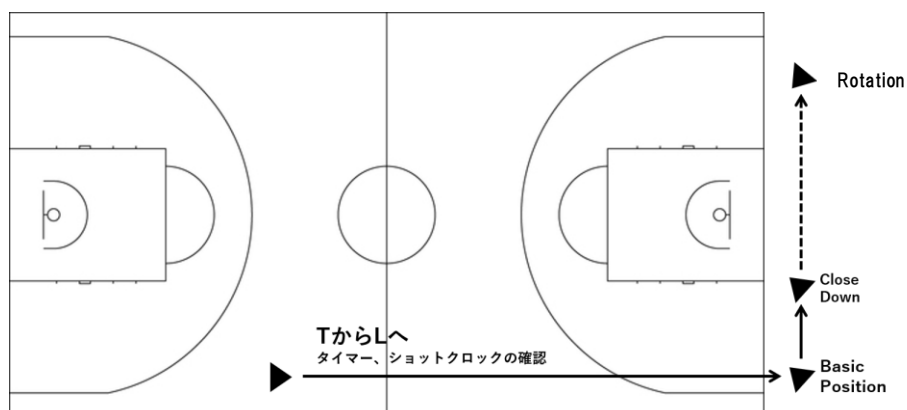
挨拶: 渡邊 整氏 (関東ブロック長)

1回戦から3POを実施するにあたり、以下のことについて意識して取り組んでいてもらいたい。

- ボールサイドツアー
- クローズダウンポジションをうまく使う
- スムーズなローテーション
- 3人の協力(クルーワーク)
3P or 2P、アウトオブバウンズ、時計やショットクロックの管理
- プライマリーエリア、アングルはしっかりと判定する
自分のアングルであれば判定する
レフリーディフェンス
- リードは、プレーに合わせた動き(ポジションアジャスト)
- プレゼンテーション
「見られ方・見せ方」、コーチ、TOなどとの関わり方

実技研修: 平原 勇次氏 (関東副ブロック長)

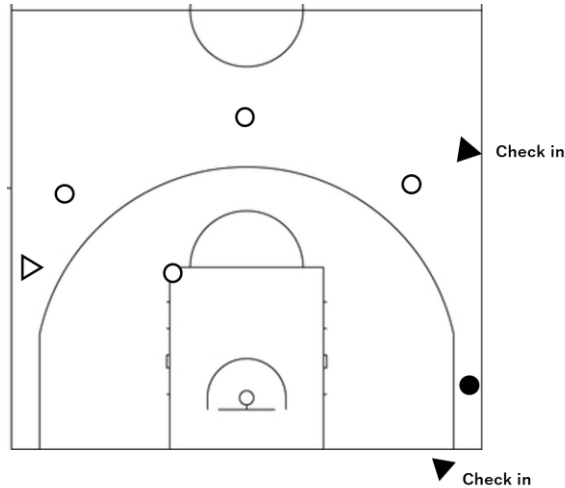
- ① T(トレール)からL(リード)へ タイマー、ショットクロックの確認
- ② Rotation(3段階)



③ Check in、Check out

- 自分のプライマリーのボールをパートナーから受け取る。
- 自分のプライマリーからボールをパートナーに渡す。
- 場合によっては、パートナーに渡しつつも完全に手放さない状態もある。

パートナーが Check in したことを確認し、Check out する。



【担当ゲーム】

8月7日(火) 女子1回戦

立川市立立川第五中学校(東京) 対 伊勢崎市立あすま中学校(群馬)

CC: 丸山 淳氏(山梨) U1: 相木 康岳氏(千葉) U2: 成田 幸子

主任: 山崎 雅洋氏(栃木)

<ミーティング内容>

- C(センター)からの判定が弱いので、自分のプライマリーはアングルの取り方を工夫して判定できるようにするとよい
- スクリーンプレイで、スクリーナーに対してもう少し目を当てられるとよかった
- Tからの判定は、力強いものがあった
- 技術的に未熟な選手が出てきた場合には、意識を切り替えて判定につなげていく必要がある

8月8日(水) 女子2回戦

桐生市立桜木中学校(群馬) 対 宇都宮市立陽南中学校(栃木)

CC: 中澤 美保子氏(神奈川)

U1: 松浦 咲氏(東京) U2: 成田 幸子

主任: 丸山 淳氏(山梨)

<ミーティング内容>

- Cのプライマリーはしっかりと判定をする
- Lでのアウトオブバウンズの判定で不確かなものはCにヘルプを求め、Cはヘルプを求められてからディレクションした方がよかった



【グループミーティング】

8月9日（木） 女子準決勝

宇都宮市立陽南中学校（栃木） 対 八王子市立第一中学校（東京）

CC：星野 由貴氏（群馬） U1：中澤 美保子氏（神奈川） U2：穂川 苑子氏（群馬）

主任：蒲 健一氏（指名）

進行：赤羽 沙耶氏（栃木）

参加：松浦 咲氏（東京） 草野 申明氏（東京） 林原 潤氏（千葉） 関口 兼弘氏（群馬）

成田 幸子

<ミーティング内容>

メカニクスについて

ボール運びで、C側のコフィンコーナーでダブルチームを仕掛けている時のローテーションについて

- Lが、スイッチサイドをしてCをLに押し上げるようにしたが、もっと早くスイッチサイドをしてあげる必要があった
- Lは、ニューリードに入る際にセットアップポジションに入るのか、クローズダウンポジションに入るのか使い分けることによって、スムーズなローテーションに繋げることができる

判定について

リバウンドの判定について

- ⇒ 後方から触れ合いを起こすものは、しっかりと判定し整理すべきであった

ルーズボールの判定について

- ⇒ 体の接触のさせ方を見極めて、判定につなげていけるとよかった

8. 大会を通して

この度は、関東中学校バスケットボール大会に派遣していただきありがとうございました。今大会は、1回戦より3POを行うにあたり各都県より多くの審判員が派遣されていることもあり、上級審判も含めいろいろな方々との交流を通じて得るものが非常にたくさんありました。県内でも最近言われているプレゼンテーションでは、毅然とした立ち姿も含めて意識して取り組まれている方が多く大変参考になりました。

審判会議の中で、渡邊ブロック長が「メカニクスの正しい理解」、「感性と判定力は磨くもの」ということをお話しされていました。正しい判定を行うためにもメカニクスについてより理解を深め、3POの経験を積み、今大会でご指摘頂いた課題を克服していけるように努めていきたいと思います。また、今大会の経験を地区や連盟に伝えていきたいと思います。

最後になりますが、お世話になった講師の皆様、大会役員の皆様、審判員の皆様、大会中たくさんのお心遣いをいただき本当にありがとうございました。